

別表3 中学校数学科 移行期の指導内容

注. ・扱いに変更のない内容、△は学年間移動や新規の内容、▼は小学校へ移行された内容

		A 数と式	B 図形
平成 21 年度 から	1 年	<ul style="list-style-type: none"> ○正の数・負の数 <ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数の意味 ・正の数・負の数の四則計算の意味と計算 △数の集合と四則計算の可能性 ←高校 ○文字を用いた式 <ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いることの意義 ・文字を用いた式における乗法・除法 ・簡単な一次式の加法・減法 △文字を用いた式による表現や読み取り (不等式を用いた表現 ←高校) ○一元一次方程式 <ul style="list-style-type: none"> ・方程式などの意味 ・等式の性質と方程式 ・簡単な一元一次方程式の解法と利用 △簡単な比例式 	<ul style="list-style-type: none"> ○平面図形 <ul style="list-style-type: none"> ・線対称、点対称 ・基本的な作図とその利用 ・円とおうぎ形 △平行移動, 対称移動, 回転移動 ○空間図形 <ul style="list-style-type: none"> ・空間における直線や平面の位置関係 ・空間図形の構成や表現 (△投影図) ・扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体、錐体の表面積と体積(△球の表面積・体積 ←高校) ▼角柱, 円柱の体積〔小6へ移行〕
	2 年	<ul style="list-style-type: none"> ○文字を用いた式の四則計算 <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な整式の加法・減法、単項式の乗法・除法 ・文字式の利用 ・目的に応じた式の変形 ○連立二元一次方程式 <ul style="list-style-type: none"> ・二元一次方程式とその解の意味 ・連立方程式とその解の意味 ・連立方程式の解法と利用 	<ul style="list-style-type: none"> ○平面図形と平行線の性質 <ul style="list-style-type: none"> ・平行線や角の性質 ・多角形の角の性質 ○図形の合同 <ul style="list-style-type: none"> ・証明の意義と方法 ・三角形の合同条件、三角形や平行四辺形の性質の論証 ▼円周角と中心角の関係〔H22から中3へ移行〕
平成 22 年度 から	3 年	<ul style="list-style-type: none"> ○平方根 <ul style="list-style-type: none"> ・数の平方根の必要性和意味 △有理数・無理数 ←高校 ・数の平方根を含む式の計算 ○式の展開と因数分解 <ul style="list-style-type: none"> ・単項式と多項式の乗法、多項式を単項式で割る除法 ・簡単な一次式の乗法、簡単な式の展開や因数分解 ○二次方程式 <ul style="list-style-type: none"> ・二次方程式の必要性和解の意味 ・簡単な二次方程式の解法と利用 △平方の形に変形して解くこと(係数が偶数であるものを中心とする) △解の公式を用いた二次方程式の解法 ←高校 	<ul style="list-style-type: none"> ○図形の相似 <ul style="list-style-type: none"> ・図形の相似の意味、三角形の相似条件を用いた図形の性質の論証 ・平行線と線分の比 △相似な図形の面積比・体積比 ←高校 ・相似な図形の面積比と体積比 △円周角と中心角の関係 ←中2 <ul style="list-style-type: none"> ・円周角と中心角の関係の意味と証明 ・円周角と中心角の関係の活用 ・関連して円周角の定理の逆を扱う ○三平方の定理 <ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理の証明 ・三平方の定理の意味と利用 ▼拡大図と縮図〔小6へ移行〕

別表3 中学校数学科 移行期の指導内容

注. ・扱いに変更のない内容、△は学年間移動や新規の内容、▼は小学校へ移行された内容

	C 関数	D 資料の整理
平成 21 年 度 から	<p>○比例、反比例 △関数関係の意味 ←中2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比例・反比例の意味 ・座標の意味 ・比例・反比例の特徴 ・比例・反比例の活用 <p>▼反比例〔小6へ一部移行〕 △関数</p>	<p>△資料のちらばりと代表値 ←高校</p> <ul style="list-style-type: none"> △ ヒストグラムや代表値の必要性和意味 △ ヒストグラムや代表値による資料の傾向の把握と表現 △ 平均値、中央値、最頻値、相対度数、範囲階級
2 年	<p>○一次関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象と一次関数 ・一次関数のグラフの特徴と利用 ・二元一次方程式と関数との関係 	<p>○確率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起こり得る場合 ・確率の意味と求め方 <p>▼起こり得る場合の数〔小6へ移行〕</p>
平成 22 3 年 度 から	<p>○関数 $y = ax^2$</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象と関数 $y = ax^2$ ・関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴と関数のとる値の変化の割合 <p>△いろいろな事象と関数 ←高校</p>	<p>△標本調査 ←高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の必要性和意味 ・標本調査による母集団の傾向の説明 <p>△全数調査</p>